京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き路を行くが如し急ぐ可らず

朝鮮四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ケ月前金弗五 ▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲一ケ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

▲五號活字十七字詰一行一圓金 ▲壹號活字十七字詰一行金七十五錢

廣告料金 五十錢▲壹報欄特別廣告五錢活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太郎
印刷人　松久神一郎
京城西壹西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

内外憲酬

一記者

京城警見錄

▲風紀　前號に述べし如く、京城の風紀は頗廢してゐる、之に對して匡救の策は如何に講ぜられつゝあるか、或は警官の機關といふものがあるか、切めて軍教に意ある者があるか、遺も亦例の事柄げて其の狀を檢して見やう、

▲馬鹿なる人民共が彩票を買ふ、花牌を弄する、利銭、立に至る、官庭が賭博をやる、官等を昇せて他に轉勤せしめる、解らざるは知つて知らぬ振りをする、所謂紳士が大金を賭して弄花をやるが、天網は一昨日頃綜處に借して有る氣ちや、怎うなれば風紀なんぞ云ふものは實に野蛮の青頂である、

（ロ）淫風が盛んである、待合は姦通場であるの觀がある、が彼等は安心して居るが、何に頼せ待合は安樂である、此の營業は警察の取締を受くると同時に其保護を受くる、但し十分の取締をして十分の保護を加へよとは其規則の明文に書いて無い、唯夫れ手心あるが故に待合は安心し、在通者又安心して醜行が行はれて居る、次に密賣淫、此奴は論になる、高等官から人足に至るまでが花客である、而して其の花客曰く「どうも面白だしい」と、近頃は又仲の新地と稱して公許の魔窟が出來た、怎ういふ風である。

（ハ）奇修だの、懶惰だのといふものは原來其の人々の勝手である、惰けんと欲するはなまけ、者らんと欲するは者る、之れを怎うあることが出來やうぞと云へば云へる、去りながら人間は氣を以て動かすことの出來るものである、大久保大臣が軍司令官となられて、一種情慶の氣が南山の西麓に磅礴として居る、樹蔭や八景園は大分寂しくなつたやうでするが、武人は甚だ其職に精勤することを見受ける、第一氣持ちの好いのは、樹蔭婦人の如き霧棲が馬上鞭子を以て十字を切り、婦人の眼を引かんとするが如き馬鹿々しきは頓と驚を聞つた、石塚參與官が故と定刻に遅れて宴會などに出る爲めか、他の高等官は役所の出勤時間に遅れるを恥辱と心得ぬやうである、學校の校長が女教師を手懸付けると、其の生徒が店の若い者と乳繰る、之れでは國之、實に どうも困る、牧師は外國宣教師の樣樣をば甚だ本氣になつて相勤ひる、然れども信徒の不身持をすら、匡す力は餘つて居ないやうである、叙上の始末で先つ風紀を弛廢から匡救するなんどは當分望み得られまい。

海軍擴張の一説

世の海軍擴張を說くもの往々にして唱歌の多少を較し戰闘艦の隻數を爭ひド型戰艦の多きを見て擴張の能事了る如く解すと雖も今や海軍兵器の改良は日進月歩の狀態にて昨の世界に比なき大戰闘艦も今は實戰に臨みて何等用なきを見るに至るなきを保せざるに際し徒に列國の造艦計畫に競爭して其輩に倣ふは策の得たるものに非ず宜しく宇内海軍の智識に頼み精銳の製艦計畫を立て先づ製器の獨立を計るを急務とすべし故に製鋼事業を益々擴張して製艦材料の獨立を期し大船渠を增加して如何なる大戰闘艦をも數年にして之れを自國に於て製造し得る準備を立つべし夫れ一朝此計畫にして確立せんか列國平和の趨勢に鑑み益〻海軍擴張の必要に迫らば此時期に際し世界の最新智識に依り諸般造艦計畫を立て一切自國に於て之を全ふすべきなり彼の徒らに例國の嘲歌を顧念しつゝ時代遅れの製艦を外國に注文するに汲々たるは未だ以て海軍擴張の眞精神を發揮するものなりと說海軍部内に頗る勢力ありといふ

豐太閤の半面

文學博士　菅原迅氏講演

秀吉平素の爲人を知る上に面白い事柄は却て朝鮮の記錄に載つて居る、秀吉の征韓前に朝鮮から使節の來朝したことがあるが其復命書を見ると秀吉の風丰態度がよく現れて居る、其大意に曰く「我等の會見した所は餘り廣からぬ室で其處には簡單な机一脚ある限り、而して脚は其机の前に坐つて物々しからぬ動作を以て我等を應き二、三物語をした、定めし便所へでも行つたものと思つて居ると頓て子供を抱いて來て平氣で話を續ける、其内子供が尿をしたので大聲揚げて女中を呼び立てる、女中が入つて來て其子を呼れて去つた、其樣子は洵に傍若無人如何にも凡人ではない、輕率の機で兄何かの意味がありさうだ」と正使は要に其結論に於て豐公は必ず朝鮮を討ぜんとうといひ副使は又「其眼鼠の如し風采掠らす惡らく征韓などをすまい」抔といつて居る、韓王は此二說何れを眞に聞じ使ねたが兎角して万一の用意意なない内に清正行長の上陸とはなつたのであるが此復命に依つて豐公の天眞爛熳加之傳の使者如きを敵中に置かなかつた事がよく知れる天若し公に假すに書を以てしたならば必ずや世界的人物の列に入つたであらうに惜しい徹世を蚕うして終に万國史に敗るに至らなかつた、山陽が外史の内に書いて居る如く韓の使者に對する通辯に就て願はくは彼國をして我文に頼らしめんと秀吉のいつたことを思ふと公の大抱負たるや知ゆ今日の如く半島保護位に甘んじて居るやうなチツポケな了見ではなかつたものゝ察せられる。

●社還米の現況調査

（道別）

其筋の最近調査に係る社還米現在高は		（現在高）
忠北	七、八八一石	
忠南	六、五五四	
全北	二三、六五〇	
全南	二七、八〇〇	
慶北	八、四〇〇	
慶南	六八、二七三	
黃海	二、四五〇	

右の外京畿道は社還米數種なるを以て一括して其の石數を表さる能はざるも之れを金錢に換算せば六萬四千百四十六圓なり江原、咸南の兩道は不明、平南、平北及咸北の三道は現在高一ツもなしと雖して前記社還米は各道に於て其の要途を異にせるも大体に於て概ね良貨金備荒貨金救恤慈善基金利殖費道及地方費に編入して既定の目的に利用する筈なり

●山林局の樹名一定

從來韓國人の樹名に關する稱呼は區々風樣を異の甚だしきは一種の樹木に對し數箇の名を付しありて契約上錯誤を釀もせし例多からず之れ爲に農商工部山林局にては疾くに之を一定置くの必要を認め過般來者藤林敎課長主任として委員を設けて調査中なりしが漸く完成し近々告示を以て一般に公布すべし而して右命名に就ては學者之を見る所に此の事を申し上げて改めて君より

日本鉛刀傳

第百十九席　邑井一講演

津田近江之守（廿三）

今のことに暫くの間呆れ返つてヂッとその顏を眺めて居りましたが忽ち傾に進み寄り、直助の手を取つて上座に直し

「アヽ、どうも物數ならぬ拙者を夫れはさまでに其方は思ふて呉れしかイヤ津田近江守助直殿、何も申さぬ此の通りでござる」と刀箱を取つて二度推戴ありましたが助「どういたしまして、ことを仰せ下さいましては恐れ入りまして、そうかれ疑念をた晴し下さいましたら弘も兩足潔併し奥や、兎も角も助直殿を歡待に及べ、乃公は斯うしては居られぬ」と氣相變へて支度に及びますから、奥方は驚きまして「貴殿へ何を遊ばします、大野の屋敷などへ行いでになり風塵なことを云へ知行泥棒殿賊と云はれてさへもヂッと我慢をいたして居つた此の方、相手は御大身然も御家老、誰れがそんな亂暴なことをする奴があるものか、かゝる珍品をば此の方申し受け、そのまゝ貰つて居らるゝか、今より速登城し及び、我が君に此の事を申し上げて改めて君より

拜領といたし我が差料に致す積りだ、彼れに是非とも一口頼みたいと心得るかゝる珍き品物を勝手氣儘、佩せうとは恩知らず」早々上下を着用いたしまして「恐れながら御前如何に及びます」其の身が六年以前藩内匠殿から「貴殿に御戒心遊ばして「兎も角も予に見せよ」とわつて少時の間は大小刀ともに御覽に相成つたが「アヽ、當時新刀ながら若手の名人といはれる助直の銘へに及んだる品實にどうも見事なことである、八十右衛門よくも藩主の中で夫れだけの事を言はれても辛抱いたし居つた、實に其方の胸中予は察するぞ、予から改めて其の方の差料といたし遣はす、殊には何うか明日助直なる者を

岡違いたして出仕に及び呉れよ、予は箱を御前へ差出し「實は斯樣々々の次第でございます」其の身が六年以前藩内匠殿から「貴殿に赤疵ヶ呼されたる次第から、座の中で赤疵ヶ呼されたる次第から、殊に拙者茶産助の苦心、落ちもなく言上に及ひまして「恐れながら御前如何

右の刀箱ヶ携へ、取ヶ物も取り敢へず出ぬ様いたしました、匠頭殿も何事やらんと早速れ會ひになりました、すると持參いたしました刀箱を御前へ差出し「實は斯樣々々の次第でございます」其の身が六年以前藩内匠殿から「貴殿に赤疵ヶ呼されたる次第から、助直にた称を下し置かれまして「實に其方の誠忠のほどは、予は感じ入つた」と種々の下され物があり、初めてのれ目見わのことであります

「至急お願いの筋あつて罷り出ました」といふことを申し入れまして、匠頭殿も何事やらんと早速れ會ひになりました、すると持參いたしました刀箱を御前へ差出し「實は斯樣々々の次第でございます」其の身が六年以前藩内匠殿から「貴殿に赤疵ヶ呼されたる次第から、座の中で赤疵ヶ呼されたる次第から、殊に拙者茶産助の苦心、落ちもなく言上に及ひまして「恐れながら御前如何

●諸公債、諸株券、現物賣買、迅速確實に御取扱可申候　京城本町三丁目日本友信商店　電話九三番

廣告

允　商店　電話四八三番　京城本町五丁目書座入口角

允　出張店　京城本町五丁目日本友信商店

允支　出張所　共通賣出し　五月廿四日より　五月卅日迄僅か七日間限り

夏物大賣出し

流行ゆかた地　本場久留米絣　反　武圓五拾錢より
珍柄モス友仙色々　其他洋反太物類
特約品關戸かや各種　外に縫目なしかや各種
弊店製造品やま九夏たび　麻ふとん地
其他麻もの類わたるい一切

正札より五歩引▲尺賣物は歩引の外

「入尺」澤山▼……ワタは歩引なし

御買上如何に不拘御遊覽願上候

京城本町壹丁目憲兵隊前

允　出張店

●滋養と牛乳●●●

●●●衛生と消毒●●●

馬車配達　純良　牛乳

京城東四軒町　岡野牧場　電話壹〇六九番

訴訟非訴訟登記戸籍上の變更
訂正請願契約起案諸會社定款
作成其他諸般の代書
右者拾數年の經驗と精實とを以て迅速に依頼者の滿足を旨とし事の大小難易を問はず自ら其衝に當り極力成効を期す
京城裁判所前向
池田事務所

建築業　柴田芝六　京城組町三丁目　電話五百六十八番

木材賣却廣告

一鴨綠江松材現木

長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候

大槻商行賣部　京城曙町　電話一八二番

やちま

金高八を森に拘らず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず賣物は可嘗に取扱極めて安全に一定の場所に保管す

滋賣品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し高運賃なきも期す

●三味線のはりかねはどこがよいであろう

はりがよくて

ねだんの安いは

米川三味線店に限る

京城本町五丁目郵便ポスト前

其他片琴洋琴尺八笛類一式安價販賣仕候

ヴァイオリン　速成教授

追て教授は親切と叮寧に可仕候尺八指南も取次します

新荷着

各地雜貨店及藥店ニ販賣ス

眼科專門

京城本町一丁目憲兵分遣所前

江頭眼科醫院　電話三三番

前遞城病院眼科部長醫學得業士　江頭富雄

東京電報

伏見宮の御消息

英国加藤大使二十日電報に曰く伏見宮殿下には十九日バッキンガム宮殿に於て英国皇帝陛下の催しに係る晩餐会に随され二十日は大雨に御遊興無御疲命を終らせられ御は二十一日は同盟望の接待を終せられポーツマウスに向け御出發二十三日再び御入京の筈伏見若宮同妃殿下には同国皇帝陛下の御招きにより二十日御會葬せられたり（廿二日）

新聞記者の渡清

来る六月上旬開始せらるべき南京博覧會並に揚子江沿岸視察の目的にて邦下新聞通信記者有志者の間に渡清團組織の議成り来る二十五日東京出發即日横浜解纜の丹波丸にて渡清の途に就く筈一行の調査地點は上海、南京、漢口、武昌、長沙等の各地也（廿三日）

軍艦生駒の消息

海軍省着電亞爾然丁バビヤブランカ莊司生駒艦長の電報によれば米國泰列艦ケンチッチー、パウスカロイナ、ロスタントマンタナ、ヘスターの五隻は十五日當港に入港ヘスター以外の四隻は本月末日迄時に碇泊すべし本官は同國政府の招待により駐箚本邦公使と協議の結果二百三十名の武装せる兵士を上陸せしめ海軍にてエウミセ海軍兵營に收容廿五日の觀兵式及演習競漕に參加せしむる豫定にて萬事好都合に取運びつゝあり（同上）

中旬の輸出入額

今月中旬に於ける輸出入は輸出五二、〇七一、〇〇〇圓累計一六一、四〇八、〇〇〇圓輸入五八、五一一、〇〇〇圓累計一八三、八二九、〇〇〇圓輸入超過六、四四〇、〇〇〇圓累計二二、四二二、〇〇〇圓を示せり（同上）

正副統監の決定

曾禰統監も今回平井軍醫監診斷の結果病状容易ならざるを覺知し桂首相其の他友人の勧告を容れ冠を掛けて静養する事に決心したり而して後任者に就き元老園に桂首相及寺内陸相例れの兼任と爲すべきやにつき意見ッ致せざりしを茲に寺内陸相の兼任とし副統監に山縣伊三郎氏を推す事となれり山縣氏は一旦固辞したるも桂侯との間に相談纏まり遂に就任するに決定せり而して右は今月中に發表さるべし（同上）

曾禰千と顧問官

曾禰統監は辭任務表と同時に顧問官に任命さるべし（同上）

▲輕氣球の飛揚距離　愛知縣東春日井郡高蔵村山上に異様の物体落下したるを取締りたるに去九日朝陽共達會に於て飛揚したる輕氣球なりし

▲久邇宮王子御命名　久邇宮邦彦王殿下第四王子は邦彦と御命名相成りたり（同上）

▲發電水力調査開始　臨時發電水力調査局に於ては廿七日頃技師八名技手八名を任用直に地點父は實地踏査により各管轄内の河川の調査を爲し有望地の測量を爲す由（同上）

▲渡清實業團の消息　小幡天津總領事發外務省への電報によれば渡清實業團一行は二十三日未明當地着の筈總督初め日本實業家熱心歓迎の準備中にて歓迎振の如何は日清兩國人の厚情親密に大功あるものと期待せらる（同上）

紐育電報

▲彗星に關する傳説　ハレー彗星に關する星學者の發表したる數字は悉く豫期に反し地球は尚彗星の中を通過せず纔て通過すべしと思はるも其時間確實に逃べられず又彗星の太陽面通過も尚未だ起らず（廿二日）

歐州電報

故英帝の御大葬

夜來の暴風全く晴れ二十日故英帝エドワード第七世陛下は幾十萬の内外臣民に奉送せられてウエストミンスターホールを出でさせ給ひウインゾル宮に赴かせられたり御行列の模様を記し率れば陸海軍の部隊及び各國陸海軍總代を先頭に元帥大將等歩兵に監柩は砲車に乘せ王族を以て覆ひ其の上に王冠を安置し柩後には陸下の愛剣を奉持せる武官新帝ジョージ五世陸下各國皇帝皇族並びに前米國大統領ルーズベルト佛國大統領代理皇太后隨從せられたりウインゾル宮にては壯厳なる埋棺の式ありて柩は直に地下の坑内に奉置せらる新帝陸下には式中も常に暗涙に咽び給ひ御大葬は極めて悲痛壮厳の中に滞りなく終りたり（廿二日）

鮮報

黄海道の人民不穏

（村民六百余名の集合）

二十三日其の筋へ達したる報道によれば去る十九日信川郡財務監督局主事池田昇一氏外三名は黄海道海州郡錦山面四里下水洞（海州東北二里）に於て國有地測量調査中同日正午より午後二時頃まで海州郡錦山面蛍谷面海州内面の人民約六百余名小石を積みたる牛一頭を曳き作業地及附近の山上に集合し從來民有地なりし該地を國有地として財務監督局員は測量調査するは不當の行爲なりとして財務局員の作業を妨害し登

下したるを取締りたるに去九日朝陽共達會に於て飛揚したる輕氣球なりし

▲久邇宮王子御命名　久邇宮邦彦王殿下第四王子は邦彦と御命名相成りたり（同上）

▲發電水力調査開始　臨時發電水力調査局に於ては廿七日頃技師八名技手八名を任用直に地點父は實地踏査により各管轄内の河川の調査を爲し有望地の測量を爲す由（同上）

▲渡清實業團の消息　小幡天津總領事發外務省への電報によれば渡清實業團一行は二十三日未明當地着の筈總督初め日本實業家熱心歓迎の準備中にて歓迎振の如何は日清兩國人の厚情親密に大功あるものと期待せらる（同上）

紐育電報

▲彗星に關する傳説　ハレー彗星に關する星學者の發表したる數字は悉く豫期に反し地球は尚彗星の中を通過せず纔て通過すべしと思はるも其時間確實に逃べられず又彗星の太陽面通過も尚未だ起らず（廿二日）

歐州電報

故英帝の御大葬

夜來の暴風全く晴れ二十日故英帝エドワード第七世陛下は幾十萬の内外臣民に奉送せられてウエストミンスターホールを出でさせ給ひウインゾル宮に赴かせられたり御行列の模様を記し率れば陸海軍の部隊及び各國陸海軍總代を先頭に元帥大將等歩兵に監柩は砲車に乘せ王族を以て覆ひ其の上に王冠を安置し柩後には陸下の愛剣を奉持せる武官新帝ジョージ五世陸下各國皇帝皇族並びに前米國大統領ルーズベルト佛國大統領代理皇太后隨從せられたりウインゾル宮にては壯厳なる埋棺の式ありて柩は直に地下の坑内に奉置せらる新帝陸下には式中も常に暗涙に咽び給ひ御大葬は極めて悲痛壮厳の中に滞りなく終りたり（廿二日）

鮮報

黄海道の人民不穏

（村民六百余名の集合）

二十三日其の筋へ達したる報道によれば去る十九日信川郡財務監督局主事池田昇一氏外三名は黄海道海州郡錦山面四里下水洞（海州東北二里）に於て國有地測量調査中同日正午より午後二時頃まで海州郡錦山面蛍谷面海州内面の人民約六百余名小石を積みたる牛一頭を曳き作業地及附近の山上に集合し從來民有地なりし該地を國有地として財務監督局員は測量調査するは不當の行爲なりとして財務局員の作業を妨害し登

獨逸大使の招待會

臨時發電水力調査局に於ては廿七日頃技師八名技手八名を任用直に地點父は實地踏査により各管轄内の河川の調査を爲し有望地の測量を爲す由（同上）

▲久邇宮王子御命名　久邇宮邦彦王殿下第四王子は邦彦と御命名相成りたり（同上）

▲發電水力調査開始　臨時發電水力調査局に於ては廿七日頃技師八名技手八名を任用直に地點父は實地踏査により各管轄内の河川の調査を爲し有望地の測量を爲す由（同上）

▲渡清實業團の消息　小幡天津總領事發外務省への電報によれば渡清實業團一行は二十三日未明當地着の筈總督初め日本實業家熱心歓迎の準備中にて歓迎振の如何は日清兩國人の厚情親密に大功あるものと期待せらる（同上）

紐育電報

▲彗星に關する傳説　ハレー彗星に關する星學者の發表したる數字は悉く豫期に反し地球は尚彗星の中を通過せず纔て通過すべしと思はるも其時間確實に逃べられず又彗星の太陽面通過も尚未だ起らず（廿二日）

歐州電報

故英帝の御大葬

夜來の暴風全く晴れ二十日故英帝エドワード第七世陛下は幾十萬の内外臣民に奉送せられてウエストミンスターホールを出でさせ給ひウインゾル宮に赴かせられたり御行列の模様を記し率れば陸海軍の部隊及び各國陸海軍總代を先頭に元帥大將等歩兵に監柩は砲車に乘せ王族を以て覆ひ其の上に王冠を安置し柩後には陸下の愛剣を奉持せる武官新帝ジョージ五世陸下各國皇帝皇族並びに前米國大統領ルーズベルト佛國大統領代理皇太后隨從せられたりウインゾル宮にては壯厳なる埋棺の式ありて柩は直に地下の坑内に奉置せらる新帝陸下には式中も常に暗涙に咽び給ひ御大葬は極めて悲痛壮厳の中に滞りなく終りたり（廿二日）

鮮報

黄海道の人民不穏

（村民六百余名の集合）

二十三日其の筋へ達したる報道によれば去る十九日信川郡財務監督局主事池田昇一氏外三名は黄海道海州郡錦山面四里下水洞（海州東北二里）に於て國有地測量調査中同日正午より午後二時頃まで海州郡錦山面蛍谷面海州内面の人民約六百余名小石を積みたる牛一頭を曳き作業地及附近の山上に集合し從來民有地なりし該地を國有地として財務監督局員は測量調査するは不當の行爲なりとして財務局員の作業を妨害し登

獨逸大使の調見

廿二日夜入京したる獨逸大使ムンム男は廿三日午前十一時半随員二名並に京城駐在獨國總領事を随へ石塚總務長官の帯同にて昌德宮に參内韓皇に謁見したり今其の模様を漏れ聞くに石塚長官に獨逸大使外随員を御紹介申上げたるに韓皇には親しく握手を賜ひ大使は初めて來韓し親しく陛下に謁見するを得たるは小官の最も光榮とする冒を言上したるに韓皇は時日の許す限り一日も永く滞在して觀光されん事を望む旨の御諚あり約三十分間にして退謁せり

獨逸大使の歴訪

獨逸大使ムンム男一行六名は二十二日午後八時二十分南大門蓄列車にて入京せられしが二十三日午前は大觀亭を同午後三時軍司令部を訪問されたり

●實業的教育の發展　學部に於ける本年度實業教育の施設は大躰に於て實施の運に至りしが其今日迄に開校し若くは不日開校の運とならんとする實業學校は大邱平壌全州成興晋州光州春川群山定州濟州島の十ケ所にして尚校公州海州にも本年九月頃より設置さるべき計畫ありと其他既設の者は官公立にて仁川釜山私立にては京城及地方を通して數校あり其他實業補習校は漢城府内公立學校に附設せらるもの三校あり要するに近時一般の學風漸く實實に趨るの傾向ありて識者の實業教育奨勵に着目するに至れるは歓よべき現象なりと云ふ

●教育的唱歌の嘴矢　從來韓國諸學校に於ては任意教治的趣向を帯びたる唱歌を教授しつゝあるが之れ全く韓國に純粋なる教育的唱歌の製作せられざるに依るものなれば學部は今回普通教育唱歌集第一輯を編纂して之を發刊したるが差し韓國に於ける教育的唱歌の嚆矢なる而して同書は初等及び高等の教育に適用する目的にて其の第二輯は本年中に發行せらるべき見込なり

●模範的地理書發刊　從來韓國各學校に使用せらる地理書は日韓人の手によりて發行されしものなるが其内容は密相其に其の當を得ざるものなりしを以て此度學部に於て最も

諸看板製作
油絵肯像畫●硝子金文字入
ペンキ塗工事大勉強請負
赤門 永樂町二丁目 通り 椹野工舎

名妓洗髪のわ妻

▽片岡さんとのわが約束はフイ▽義理が惜しいから二人で情死

▽義理が惜しいから二人で情死

捨て置る日、横松へ乗り込まうとすると市村が居ない、何うしたらうと酔岡中探した末、私が大東館で泊つた事が

宿帳から露顕して了つたので大騒ぎ

、雨人は屹度転落したのだらうとの事で、春羽屋のわ母さんへ

電報を打つといふ騒をしたさうです

▲梅奉さんなんかも大変心配したのですがね、私は私で明日の乗込みだのに泊めちゃあ不可ぬと思つて、無理に市村を返しましたもう

片岡フイになつて了つたので

、約束の大阪行が、

市村は酔ひ潰れ

、私が来て帰ちゃ大騒ぎだ、斯うしちゃ居られぬ、俺もう覚悟をした、

役者は廃業だ

、堅気になつて御恩返しを為ますから暫くれ暇を下さいつて

遺書を書いて停車場の畑草屋の姉さんに寄託たよ

、さあ～

箱根へ駈落だといふのです

、其れでは私がれ母さんに済まぬ、まあ心を沈着けなさいと云つてる間に、日がトップリと暮れました▲月の好い晩でした、海岸を二人りで涼風に吹かれながら歩いていろ～相談してるま、何んだか私しも

氣が變になつて来ましてね

、ツイ放心と若旦那、もう仕方が無い、義理が悪いから

心中しませうかと云つたのでした

、市村はウンやらうと云ふので、夫れならとて海へ両人で手を繋いだまま退入つて了つた、斯うして段々と水へ行つて死んで了ふ心なんですが、

手を堅く握つたまま段々と這入つて行く其間雨

人が両人の背を目を聞きませんでした▲盛宴で何でもない、雨人は全くの感じする積りだつたのですがね、私等の寿命の長きことは

頭が清々して来ました

、月はなしに淺間の空然と突立てゐると、沖から吹いて来る風が涼しいも涼しいので

沖から吹いて来る風が涼しいも涼しいので

、波を鏡の影が斯う水に映つてキラ～

波を鏡のうてゐる美しさに

、自分達の今の身の上などは忘れたやうでした、すると渡邊の方では暫々と人聲がするのです。

三面電報

▲大尉夫人慘殺犯人去る

四十年十一月相州逗子に於て

大規機關大尉夫人萩代慘殺

せしたる事件は今日迄何等の手掛りを得ざりしが今回有力なる嫌疑者として

豫備機關大尉生方文次(三三)なる

者を廃生警察署の手に

捕縛せられたり(廿三日東京發)

酌婦にも親が在る

▽其親よりの説諭願

南大門外に中の新地と魔窟のあるは隠れも無き事なるが同所に日の出楼といふ料理屋の有ることは知らぬと云ふ者は無い事なるが、其後の発奮は心のまゝと甘いことづくめにて説き立てしよりくにも亦嘗うなる筈の不都合なる氣立ての女なるより特りも早く其まゝ龍山北海楼に棲込みしが其後南大門通りの花屋太平町の二葉亭と称して本年一月前借金七十圓にて前記日の出楼に抱へられ夕に左官の八公を迎へ晩に大工の熊公を送り暮し人事我身の上さへ打忘れて居たりしに北の酌婦にも親といふものあり娘が溺る浅猿しき稼業を厭ひて風の便りに聞るしもの此程西部警察署に宛てくにが結願する嫌疑説諭願を送出せしに付調査にて本人に説諭願を捨置けとの事なりと

谷川三藏拘引

▽慾ノ餓鬼殷ゴリ裂げん

本町七丁目居住谷川三藏こいよは遊廓貸座敷等を愛める外市内の縦水を請負ひ殿巳の貸家をも有し居る者なるが此程家屋を新築し工事を成者に請負はしめしが其落成するや工費及建築材料の代金を踏倒さんもの所有の他所家屋等は一切他人の名義に書替へ訪負人より如何に督促するも無い金は拵へぬの一点張りにて請負人を苦の居ること東城地方裁判所検事局の耳に入り拘引して取調べの上起訴されたり

●憲兵場りの不頼漢

▲内縁の妻に重傷を負す

福島縣人當時西ヶ門通り表面土木請負業知野藤衛門(三七)は以前憲兵上等兵を勤務し清國大連憲兵隊に奉職せしが去る四十年中韓國に來り暮町一丁目の下宿屋岡山縣生れ知崎つち(三七)宅に此宿し憲兵分隊と自稱遂につちと内縁を結び其の后は憲兵少尉と稱し或は石塚長官の親族なりと稱し或は憲兵隊の機密主任なりと稱し各所に流浪所々にて金を借り倒し酒屋雑貨店は勿論料理屋飲食店を飲荒し詐欺的行爲甚だしく其の筋に於ても注意忠や時は殴打し此又其の筋に説諭せられし事屢々なるが此の頃は嫉妬一層甚だしく故なく爲めに重傷を負せ目下大韓醫院へ入院中又彼は自分は妻が居らぬから本妻にすりくと欺罔し花姓女と云る韓婦人を連れ来り太平町の或る温突に泊きし此の頃密婦に資産さんとしつゝある由にて其の筋に於ては厳重に彼の醜行探偵中なりと云ふ

●月尾島沖の身投げ

▽死者は入字髪の日本人

一昨日午前十一時頃仁川月尾島附近に日本人の死体漂着せりとの届出に依り仁川警察署より警官二名及び久木田警部現場に出張して検視したるが年齢三十歳位にして面長く色は黒き方にて鼻下に髭を貯へ身には背廣服を纏ひ一見職しからざる風体を備へ携帯品としては三錢入の財布及びナイフ鉛筆のみなりと云ふ尤も右死体検診の結果死後五時間を経過せるもの、如く月尾樵夫より投身して自殺を遂たるものならん

●支那人殺し第二審

▲何れも死刑を免かる

忠清南道牙山郡二西面方思里大工業農池明五(三七)の親子は忠清南道牙山郡屯浦に留滞國人千逢春より

無期懲役に池光春は懲役十五年に處せられたり

●往生際悪き李在明

▲遂に控訴を申立つ

第一審に於て絞罪の宣告を受けたる李

●女振り

河合一郎氏夫人子

大分縣速見郡杵築町のれ生れで縣立女子師範學校の卒業生である、本年は三十三の厄年だ、茲に女振りに引き出されるのも其の所爲だと思つて諦めて頂きたい、併し決して無理にとはれ願ひ致さぬのである、卒業後義務年限を育英に従事中精一郎君に見込まれて結婚したのだ、話が先へ先へと進んで肝腎なことは忘れて居たが河合精一郎君は日の出町の小學校の校長である、前民長通稱ライ公の推薦で大分縣速見郡視學の職から轉任して来たのが四十一年の二月で當時はたゝ子さんも南大門幼稚園の根母を勤めて居られたのだが四十二年四月分娩の爲め解職せられ同五月にアノ有少さいのを産れたのだ、長男に喜と命名られた息子さんがあつたのだが四十一年の五月に肺炎で亡なられた、長女は はるゝ子さんと云つて十二歳で尋常科五年生であるが、たゝ子さんの御童力に因つて何日も優等であるので他の生徒り嫉妬て彼れでもかと云つて居る、たゝ子さんはナカ～の交際家で手よりも口の方の人である、下女に美人の必要がないとはたゝ子さんの御持論で實践躬行せられて居る、精一郎君は郡視學氣質で愛んに部下の首斬りを試みられる、たゝ子夫人は其の度毎に同情の念に駆られて精一郎君に向つて思ひ切つた抗議を申し込まれるのである、が精一郎君は貴様なぞの知つた事でない、絶大なる亭主權を振り廻して其の言を却けて終らぬのが常である、遂然夫人は悟ます挽ます陰になり日向になり良人の部下の人を擁護して居られると云ふ、此の一事は確かに萬遇を値ふに足るのである。

●自轉車競爭の盛況

▽来觀者一萬人以上

朝鮮日日新聞社の自轉車競爭は豫定の如く一昨日龍山凱旋町に於て開催されたるが来觀者無慮萬非常の盛況なりし尚ほ同社寄贈の優勝旗は藤原撰手の手に歸したり

●龍山の女泥棒

愛知縣海東郡蟹江町百八十五番地當時龍山榮町九十五番戸伊藤りう(三)といふ手長女は去年十二月八日老松町某病院の看護婦前川よしの羽織、襦袢外一點を盗取し又去三月二十三日老松町河足喜藏方を訪れし際家人は皆不在にして店の戸に他よりの依頼されたる仕立物六點を一包にして差出さるゝありしを見て之れを窃取し龍山鎮道官舎三浦某方に奉公中の娘しづに賍物の羽織を七圓にて賣りつけ尚羽織一點を本撥居留乾乙吉といふに去四月八日節句の御祝儀にて送附し殘れるを老松町大塚質店に入質せし事露見し去二十日捕縛されたり

●横着な受負人

島根縣人當時蓬莱町左官職山本福次郎(三八)は本年四月廿日吉野町常盤樓新築工事を受負ひ該工事を曙町村井嘉三郎若草町三浦安吉櫻井町市川藤作の三名に金五百四十圓にて下請せしめ工事金は五月十五日の仕上げ期日と同時に支拂ふの約束なりし處次郎に洗興に工事費全額を費消し本年三才になる女見一名を三浦安吉方に預け本月十九日より何處にか逃走したるにそ下請人三浦村井市川等は吃驚し西部署に捜索願を提起せりと

歌舞伎座出演

婦人の酔ひ倒れ

有田たまと

去る廿日の夜八時二十二分午後十時頃泥酔して春町一丁目鳴春し前の街路に大の字になり寝て居る處を警官に認められ南部署に引致され上説諭放免したりとは飛んだ色消し

店員採用

一年齢二拾才以上三十才以下にして多少戦語に通ずる者

但し京城在住者にして相當なる保證人二名を要す

右希望者は履歴書を添へ申込ひ可し

南大門通四丁目 共益社輸出部

●撮影ひの四苦死

一昨日午後一時頃京城生れの金福星(十三)と云は仁川新町二丁目上野雑貨店より爆管を窃取逃走せんとするを取押へ其筋へ突出さる

●店員の採用

南大門通四丁目の共益社にては韓語の素養ある二十歳以上三十歳迄の店員を採用すと

桃川若燕の開演

▲愛二十四日曉より

一昨夜着京したる桃川若燕一行は新設喇叭隊にて第三軍司令部及び各師團より寄贈の数流の旗押し立て勇ましく町廻りをなし愈々廿四日より豫定の通り當地歌舞伎座にて開演する筈なるが定めて好評を博する事ならん

目と耳

▲寄座 開場以来好人氣なる同座今日四日は前狂言『本朝綱五郎』切狂言『隅田川法界坊』にして役割左の如し

神原佐五郎、法界坊 駒若、姉於房、娘おくみ(正三郎 妹小糸、手代要助實は巴之丞(内匠之助)父與十衛、五平太、甚十郎、三之助)本朝綱五郎、女房れん(竹三郎)手代佐七(鹿二)母親妙かん、番頭仙八(九十郎)局岩崎(芝十郎)平時九郎兵衛、甚三(大舎)

▲浪花館 寄語一座は茲二三日にて打ち揃に付十健均一として左の通り大車輪に勤ひる由

伊勢道中(若二郎)四ノ字嫌イ(若明)改良芸哉(國三)尼餅(笑三)裏の裏(文鶴)喜劇舞妓者一(座員惣出)白木屋(若遊三)大切所作事電氣應用

廣告

夏物大賣出し廣告
太物 浴衣地 蒲團地
洋反物 久留米絣
見切反物並につり切類其外いろ～
賣出期間 五月二十四日より三十一日まで
正價より五分引
かやた
關戸蚊帳株式會社韓國代理店
京城明治町壹丁目
唐川立造商店
電話二六一番

▲愉絶 ▲快絶
一昨二十二日日韓自轉車大競走會特別撰手五十週にてプリーミヤ愛乘者鹿毛選手は有ゆる選手と一週以上の差を以て優勝せり
プリーミヤ ラシクル 總代理店
角商會支店
京城南大門横

丸一の
夏物大安賣
新柄珍柄を取揃階上に陳列致置候
浴衣地
見切もの～外正札より五分引
五月廿五日より六月五日まで
京城本町三丁目
丸一洋和太物店
電話(六三五)

マッージ術
僂麻質斯。神經痛。
脊髓炎。腰筋骨
一切の術
佐世保より出張 井手

美術半襟帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九 ふり徳商店

廣告

藝妓置屋開業
料理は特合其他素人様方の御席へも參じますから御贔屓に願ひます
いろは順
舞子 市太郎
舞子 仲松子
松光子
愛光子
光吉子次子
明治町 中屋席 電話一四八一番

和洋御料理
△宴席の御引立と愛り開店一年を過ぐ△御膳に鏡の饒盛と改縮し庭園を設け△御膳は以て味覚と改縮し庭園を設け△料理はハイカラにあらず素人料理△料は新鮮にして却て別味あり△宴會、凡べての御會合の會場或は御△宴會人方御興仲の御慰遊に適す△御席料などは頂戴致さず△仲居あり親切にして愛嬌あり△御客樣の御命令は何なりとも奉ずべし△御けないで御けるる素人料理安いの飛び切り一度御枉駕下さい
一洋食 御一人前六皿 ビール一本付 代金六十錢
一會席 御一人前六品 酒二本付 代金六十錢
此外洋食は一品毎金廿錢和食は一皿金十五錢以上自慢の東京流天ぷら、高等しるこあり
たちばな
南大門通三丁目東、義生堂號家光宜門筋向、明治町一丁目支店、電話番號西湯筋北に入る赤坂座

開業御披露
和洋會席御料理
本月十五日より開業
仲居及料理人其他器具類一切神戸より輸入し御待遇親切設備高尚にして頗る美味なる御料理を以て勉強致候間陸續御來遊之程希望候敬白
京城旭町三丁目 神戸 富田家支店

夏物聯合大賣出
自五月二十四日
至五月三十日
呉服商組合
(いろは順)
㊐ 林呉服店 電話六百五十二番
㊙ 山枝呉服店 電話二百二十四番
㊤ 山口呉服店 電話九番
㊥ 圓城呉服店 電話百五十七番
㊦ 惠阪呉服店 電話七百二十六番
㊧ 末永呉服店 電話六百八十二番
現金ニ限リ聊添物進呈
見切反物寄切種々
(但シ添物ナシ)

東京災害運送保險株式會社
明治廿年七月創立 資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口呉服店電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

韓語大成
値上廣告
一部一圓八十錢 郵送料十五錢
從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正增補致候間前記の通り値上候也
京城本町五丁目 釘本藤次郎本店
長電話四五番 振替貯金口座韓國二五六番

東京足袋
本店東京 京城大和町一丁目 (日の出橋際)
大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

きゝめのある温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん膿、胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席 鐵冷温泉
電話千四百十一番

素人料理
開業に付謹告
初夏の折柄四方の御客樣方益々御清福に可被爲渉寒大賀候
がれば弊店學先年開業以來不動御引立を蒙り難有御厚誼を以て日々繁昌仕候段何よりの仕合に奉存候就ては日頃の御贔負に浴はん爲め今後時候柄適切の素人料理を調進可仕尚は新鮮なる材料を精選し其上價廉なる旨として御需めに應じ可申候間何卒一層御引立を願候樣伏て奉願上候頓首
京城明治町一丁目
東京生そばなつば
電話八三二番

賜東宮殿下御買上品
韓國京城博覽會榮譽賞狀受領ス
清國領事館御買上品
滋養人參飴
本品は滋養劑として東洋第一と稱せらるる朝鮮人參を以て精製したる物にて朝鮮産一の御上品なり
本品は殊に夏季の强壯劑として頗る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御評を仰ぐ
◎特約販賣店 京城、釜山、仁川、平壤、開城、龍山、鎭南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於て發賣
京城本町二丁目(電話一九九番)
井口大藥房
京城大町二丁目 井口順生堂藥房
●朝鮮唯一の土產夏季滋養●夏痩の人は必ず飲め

營業科目
和洋紙類 印刷用品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 醬油料類
諸官衙御用品調達
委託販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アニアアルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
東京蓄音器合資會社金蓋特約店
本社 京城明治町二丁目 (電話二〇三番)
出張所 東京十二橋 東京南橋 東京新橋 電話一番 電話三番 電話十番

移轉御披露
今般業務擴張の爲め本町四丁目(日韓瓦斯會社東隣)に移轉致し來る十五日より
茶 新茶大賣出し仕候
京城本町四丁目 富士の里茶舗
電話九九七番

金錢貸借電話讓渡 土地家屋老舗賣買 人事百般其他
京城明治町一丁目勸商場前
周旋業 明治屋

特約販賣
味噌醬油製造元 漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
支那白菜漬 朝鮮菜葉漬 大賣出し

金魚各種卸小賣
陸軍御用達 龍山山下町一丁目(兵器支廠官舍入口)
馬木勇吉本店 電話三六四番
茶器商 京城本町五丁目一番戸角
馬木勇吉支店 電話四七一番

衣服衛生用 新製品及 表裏調進仕
中秀太郎